



入院診療計画書

泌尿器科の手術を受けられる方とご家族の方へ

病 名	尿道下裂+左・右・両側 停留精巣
術 式	尿道下裂手術+左・右・両側 停留精巣
入院年月日	
説明年月日	
主治医氏名	
担当医氏名	
主治医以外の担当者名	

*この予定は現時点で考えられるものであり、変わることがあります。
*ご不明な点がありましたら、お尋ねください。
この用紙は入院時にお持ちください。

以下の内容について医師・看護師より説明を受けました。

患者氏名: _____

家族氏名: _____ (続柄)

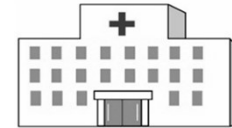
病歴番号



氏名

生年月日

性別

病棟名



	入院前日まで	入院・手術日	(/)	(/)	(/)	(/)
			手術前	手術中	手術後	手術翌日
治療 処置	*手術前に、必要な検査(血液・尿・胸部レントゲン撮影・心電図)があります。 *身長と体重をはかります。	*感染症(水痘、おたふく、風疹、麻疹)の確認をさせていただきます。 *麻酔科医師の診察があります。	*体温・脈拍・呼吸・血圧を測ります。	*全身麻酔をかけます。 *手術中に点滴を行います。 	*体温・脈拍・呼吸・血圧を測ります。水分・食事が摂れたら手術翌日に点滴を抜きます。 *傷を圧迫しているガーゼの汚染状態を観察します。 *チューブから尿が出ているか(つまっていないか)をおむつ交換のたびに確認します。 *入っているチューブがつまらないように、手術当日の夕方から定期的にチューブの洗浄を行います。方法は看護師が説明します。最初は見学していただき、翌日からは実際にご家族の方にも行っていただきます。	*朝、主治医の診察があります。
薬剤			*麻酔、手術の不安や緊張を和らげる薬(鎮静薬)がある方は 時 分 に飲んでいただきます。	*痛み止めの坐薬を挿入する場合があります。	*傷が痛む時、吐き気がある時は坐薬を使います。 *点滴で抗生剤を使用します。 *点滴が抜けたあとは、抗生剤と膀胱の刺激を抑える薬を飲むようになります。	*内服薬、痛み止めの坐薬をお持ち帰りください。使用方法は看護師より説明があります。
水分 食事	*いつでもおりで構いませんが、食べ過ぎに注意しましょう。	*手術前日の24時までは食事の制限はありません。以後は禁食となります。 *手術当日は右記の時間まで水分を十分にとりましょう。	*最終の水分は 牛乳 時 時まで クリアウォーター 時 まで です。		*病棟に戻って1時間後に気分不快がなければ麦茶などが飲めます。その後、気分不快などがなければ、ゆっくりとミルクや食事を摂ることができます。飲み物や食事を摂る時には看護師に声をかけてください。	*退院パンフレットを病棟よりお渡しします。
活動 清潔	*いつでもおりにお過ごしください。外出した時はうがい、手洗いをし、風邪をひかないようにしましょう。入院前日はお風呂に入ってきてください。	*来院時間は 7 時 30分 です。 *周産期棟3階手術室前にいらして下さい。 *遅れそうな場合には手術室にご連絡下さい。	*鎮静薬を飲んだ後はふらつきが出ますのでベッドの上でお過ごしください。なお、トイレへ行く際は看護師に声をかけてください。		*手術後は傷の安静のためベッド上で過ごします。 *手術翌日、主治医が傷の状態を確認します。 *退院までは傷の安静のためベッドでお過ごしください。 *お風呂には入れませんので、身体を拭きます。 *チューブを触ったり引っ張らないように注意してください。	*退院パンフレットを病棟よりお渡しします。
説明	*入院・入所のご案内、手術を受けられる方へのパンフレットをお読みください。 *テープ式のオムツを1袋ご用意ください。	*病棟および手術前の説明があります。 *入院時情報用紙をお持ちの場合は、看護師にお渡しください。	*手術開始時間は午前中の予定です。	*手術中はPHSをお渡しします。建物内でお待ちください。 *術後回復室である程度麻酔が醒めるまで様子を見ます。	*お子様が眠っている場合でもベッドを離れる際は必ずベッド柵を上げ看護師に声をかけてください。 *看護師より退院後の生活について、説明があります。 *チューブフラッシュ用の注射器は、病棟よりお渡しします。	*朝9時までにお迎えに来て下さい。 